

ウェストミンスター小教理問答 36 問「主要な祝福に伴う祝福」

主要な祝福とそれに伴う祝福

信者がこの世で受ける主要な祝福として、小教理問答書は三つを挙げていました。

- (1) 義認 私たちはキリストを信じる時、すべての罪を許され、キリストの義を頂いて、天国に入る資格のある義人と認められます。
- (2) 子とされること 私たちはキリストを信じる時、父なる神様の子とされます。
- (3) 聖化 私たちはキリストを信じる時、生涯をかけて神の御心に適う人間(神と人を愛する人間)へと少しずつ変えられていきます。

しかし、キリストを信じる時に、この世で信者が受ける祝福の豊かさは、それら三つだけでは言い尽くせません。それらに伴い、それらから流れ出る祝福があります。

主要な祝福に伴う祝福

次のような祝福を列挙することができます。

- 1、神の愛の確信：信者は神の変わらない愛を確信することができます。
 - ① 私たちは義認の恵みを受けました。すべての罪が赦され、神は私たちが義なる者(御心に適う者)と認めて下さり揺らぐことはありません。ですから、私たちはどのような時にも、神様が私を愛しておられることを確信することができます。
 - ② 私たちは子とされる恵みを受けました。神を完全な父と仰いで、その愛を確信することができます。
 - ③ 私たちは日々、聖化の恵みを頂きます。心がきよめられ、神と人を愛する思いが増すほどに、魂の目は開かれ、神の愛に対する確信は深められます。
- 2、良心の平和：信者は、良心を苛む苦しみから自由にされています。

私たちは義認の恵みを受けました。私たちは完全に正しい生活からは遠い者ですが、神は私たちが許し、義としておられます。どんなに人が私たちが責めても、また、自分自身の良心が自分を責めても、私たちは主の赦しを頂いて良心の平和を与えられます。

これは、善悪に無頓着になることではありません。また、悔い改めと遜りを忘れることでもありません。自分の罪に気がつく時にも、自分の良心の告発に打ち倒されない者とされている恵みです。
- 3、聖霊における喜び：信仰者は聖霊の起こして下さる喜びを受けます。

聖霊は、私たちがキリストと結びつけ、私たちが、義とし・子とし・聖化して下さいます。神の愛を確信させ、良心を平和にして下さいます。これらすべてを通して、聖霊は私たちの日々の歩みに喜びを与えて下さいます。この喜びは、この世の悲しみが来る時に一時は見失われることがあっても、決して本当には失われません。信仰者には必ず喜びが戻って来ます。

4、恵みの増加：これらの恵みは信じた後も、増し加わる恵みです。

私たちは聖化され続けます。信仰の生涯の間、信徒は一層きよい者へと変えられ続けます。そのように変えられ続けながら、私たちに神の恵みは増し加わります。

(1) 私たちの心の目は、時と共にいっそうよく見えるようになり、救われたすばらしさ(義認・子とされること・聖化とそれに伴う祝福)をより深く知ることで、恵みは増し加えられ続けます。

(2) 私たちは神と人を愛する心を増し加えられ続け、神と人を愛する喜び、礼拝を真実に献げる喜びも増し加わります。

クリスチャンの喜びは、洗礼を受ける時が最高なのではありません。受洗の時は特別の一步を踏み出す時として感激の時ですが、信仰の喜び自体はその後に増し加わるのです。

5、終りまでの堅忍：「堅忍」とは、主イエスと私たちの結びつきが最後まで保たれる事を意味します。私たちの側には信仰を守り通す力が与えられ、主イエスの側も、私たちの救い主であり続けて下さいます。この世の何であっても、「キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すことは出来ない」のです(ロマ8:39)。

洗礼を受けたのに、教会から遠ざかる人もいます。しかし、真の信仰者であれば、つまずいても必ず立ち帰ります。死の床に至るまで立ち帰りのチャンスはあります。死の直前、人には見えなくて、主が立ち帰りを与えておられる事もあるでしょう。主は、すべての真の信者に堅忍を与えて下さるのです。

もちろん、キリストを信じないで形だけの洗礼を受けた人はこの限りではありません。